

パブリックコメントの実施結果（概要版）

- 【実施期間】 令和5年8月14日(月)～ 令和5年9月13日(水)
- 【閲覧場所】 保健部総務課、市政情報コーナー、各支所・出張所、交流館、ホームページ
- 【提出方法】 持参、郵送、ファックス、電子メール(Eモニター含む)
- 【提出者数】 179人(紙提出0人、電子メール4人、Eモニター175人)
- 【意見数】 計画素案に対する意見 103件(1人の意見に複数項目含まれる場合は分けて整理)
 その他Eモニターにて実施したアンケートに対する意見 175人

1 計画素案に寄せられた意見分類と件数

| 項目 | 番号 | 意見分類 | 件数 |
|---------------|----|----------------------|-----|
| 計画全般に関すること | ① | 計画の推進 | 4 |
| | ② | 施策全般 | 14 |
| | ③ | 市民への周知・啓発 | 14 |
| 分野別の取組等に関すること | ④ | 身体活動・運動の推進 | 4 |
| | ⑤ | こころの健康づくりの推進 | 7 |
| | ⑥ | 栄養・食生活の改善、食育の推進 | 3 |
| | ⑦ | 飲酒・喫煙・薬物乱用等に関する啓発の推進 | 2 |
| | ⑧ | 地域等との連携 | 3 |
| | ⑨ | 支援機関等との連携 | 3 |
| | ⑩ | イベント・講座等の開催 | 6 |
| | ⑪ | デジタル化・ICTの活用 | 5 |
| | ⑫ | 特典・インセンティブの付与 | 4 |
| | ⑬ | 年代別の健康づくり | 5 |
| その他 | ⑭ | その他（感想等） | 29 |
| 合計 | | | 103 |

2 計画素案に寄せられた意見（抜粋）と事務局回答 ※ご意見は、趣旨を損なわない範囲で要約してあります

| 番号 | 意見分類 | 件数 |
|----|---|----|
| ① | <ul style="list-style-type: none"> 計画の推進 | 4 |
| 意見 | <ul style="list-style-type: none"> 評価指標にセミナー等の実施回数をあげているが、さらに参加人数の比較も入れることが重要だと思う。 基本指標1～4の他に介護、医療費の改善、自治区、交流館等の活動状況は把握できないか。 具体的でわかりやすい施策が見えてこない。具体的な行動の日程感がわからない。 | |
| 回答 | <ul style="list-style-type: none"> 指標の設定や計画の推進に当たっては「豊田市地域保健審議会」において実施することとし、具体的な取組、スケジュール等、計画の進捗管理を行うとともに、必要に応じて評価項目の追加・修正等を図っていきます。 また、地域、ボランティア、民間事業者等が参画する会議体等を立ち上げ、各主体が実施する取組の実践例や課題等を共有するとともに、新たな取組について協議することができる体制を構築していきます。 | |

| 番号 | 意見分類 | 件数 |
|----|--|----|
| ② | <ul style="list-style-type: none"> 施策全般 | 14 |
| 意見 | <ul style="list-style-type: none"> 健康に対する意識向上は大切であり、個人個人の意識が高まり、自発的に健康について考えられるようになると良い。 一人一人が意識を高める事が大切だと思うので、地道に何度も同じ事を繰り返し教育するしかない。 健康向上に取り組んでいる人向けの施策もあると良い。健康向上の底上げより、活動している人をより高みに引っ張ることで、それらの方がインフルエンサーになって、周りも変わっていくことが期待できる。 健康に意識のある人が、自分からこのプランに興味を持って関わっていくことになるので、興味のない人も自然にこのプランに関わっていけるようにした方が良い。 | |
| 回答 | <ul style="list-style-type: none"> 健康に関する広報活動や情報発信を進めるとともに、誰もが参加しやすいイベント・講座・教室等を実施していきます。 健康づくりの取組については、市役所関係課、地域、ボランティア、民間事業者等、健康分野に限らず、様々な分野と連携することで、健康づくりに関心が無い市民でも自ら関わっていけるような取組を検討していきます。 <p>⇒ 重点取組3「新たなつながりの創出による健康づくりの推進」の具体的な取組の内容を修正しました。</p> | |

2 計画素案に寄せられた意見（抜粋）と事務局回答 ※ご意見は、趣旨を損なわない範囲で要約してあります

| 番号 | 意見分類 | 件数 |
|----|--|----|
| ③ | <ul style="list-style-type: none"> 市民への周知・啓発 | 14 |
| 意見 | <ul style="list-style-type: none"> はじめて知る活動もあり、内容を詳しく知る機会がほしい（広報などでわかりやすく）。計画を作っても、詳しくない人はよくわからないままで何も変わらないと思う。 どの様に市民に告知していくのか、各市民の健康に対する意識向上へのきっかけとしてどのようなことがあるのか、どこで何をやっているのか知らない方も多いのではないかと感じます。 資料で様々な取り組みが羅列表記されていますが、これまで馴染みのない取り組みばかりで、市民に活動が浸透していないように思われます。 | |
| 回答 | <ul style="list-style-type: none"> 広報とよたをはじめとした様々な媒体を活用し、健康に関する正しい知識、健康づくりに関する取組等について、市民に対する周知啓発を図っていきます。また、本計画の周知を図るため、計画の要点をまとめた概要版を作成していきます。 ⇒ 計画のスローガン（健康づくりの合言葉）「とよた健康プラス10（じゅう）」を設定し、計画の体系に位置付けて、広く市民への周知・啓発を進めていきます。 | |

| 番号 | 意見分類 | 件数 |
|----|--|----|
| ④ | <ul style="list-style-type: none"> 身体活動・運動の推進 | 4 |
| 意見 | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者の健康寿命を延ばすためには、動けるうち体を動かす機会を作る方が良い。積極的に歩いたり、ゲートボールなどを行っている人もいるが、動けなくなると寝たきりになってしまうので、どのようなことができるかが課題 大人は子供が気軽にスポーツなどをできるように考えてやらなければならない。安全にも配慮があるので、気を配ることはあるが、環境整備は重要 | |
| 回答 | <ul style="list-style-type: none"> 運動に関するイベント・教室等を開催するなど、運動できる環境を整備するとともに、各地域で行われている健康に関するイベント・教室等の情報についての発信もしていきます。 | |

2 計画素案に寄せられた意見（抜粋）と事務局回答 ※ご意見は、趣旨を損なわない範囲で要約してあります

| 番号 | 意見分類 | 件数 |
|----|--|----|
| ⑤ | ・ こころの健康づくりの推進 | 7 |
| 意見 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者にメンタルが良くない人がかなりの数いる様な気がします。高齢者のメンタルを防ぐ対策も考慮して頂ければと思う。 ・ 自殺する人は相談できない人が多いのではないかと思うので、もっと悩みを抱えている人の身近な民間企業の管理職や学校の先生を対象にしても良いのかなと思う。 ・ 自殺は様々な原因が裏にあると思われるため、難しいとは思いますが、市役所のさまざまな部署が対策に取り組んでほしい。 | |
| 回答 | <ul style="list-style-type: none"> ・ こころの健康づくりに関する正しい知識やストレス対処方法等について普及啓発を行うとともに、相談窓口の情報発信を進めていきます。 ・ 自殺の危険を示すサインに気づき、声をかけ、話を聴き、必要に応じて専門家につなぎ、見守る「ゲートキーパー」の養成研修を様々な場面で実施していきます。 <p>⇒ 重点取組4「多様な支え合いによる生きることの包括的支援の推進」の内容を修正しました。</p> | |

| 番号 | 意見分類 | 件数 |
|----|--|----|
| ⑥ | ・ 栄養・食生活の改善、食育の推進 | 3 |
| 意見 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 愛知は野菜の消費量が少ないようだが、野菜が嫌いなのか、外出時含めて野菜が高価で買い控えしているのか、野菜の必要性を感じていないのかにより、対策も変わってくるのではと思う。 ・ 楽しく食べて、こころも身体も健康になるよう、様々な取組を進めてほしい。 | |
| 回答 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 市役所関係課、関係機関等と連携しながら、「食育月間（6月）」や「野菜の日（8月31日）」などを活用しながら、野菜摂取を含めた食に関する啓発活動を進めていきます。 | |

2 計画素案に寄せられた意見（抜粋）と事務局回答 ※ご意見は、趣旨を損なわない範囲で要約してあります

| 番号 | 意見分類 | 件数 |
|----|--|----|
| ⑦ | <ul style="list-style-type: none"> ・ 飲酒・喫煙・薬物乱用等に関する啓発の推進 | 2 |
| 意見 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 薬物乱用防止策として「ダメ。ゼッタイ。」という文脈で語るより、薬物依存の根本にある<なんらかの苦痛>との向き合い方を考えていくべきだと思う。 ・ 喫煙者本人の健康は重要だが、深刻なのは喫煙者がタバコを吸うことによる周りの人への害を喫煙者本人が意識していないことが多い、ということです。「自分は大丈夫」ではなく「周りの人の健康に害を与えている」という意識を持たせるための活動を実施してほしい。 | |
| 回答 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 飲酒・喫煙・危険薬物等に関する正しい知識の理解促進を図るとともに、依存症に関する専門医療機関や自助グループを掲載した情報誌を作成・配布し、専門機関へつなげる取組を進めていきます。 | |

| 番号 | 意見分類 | 件数 |
|----|--|----|
| ⑧ | <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域等との連携 | 3 |
| 意見 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学や企業のサポートを受けながら、子供がスポーツを体験したり、興味を持ってくれるような企画がであると良い。 ・ 中学校区ごとにあるスポーツクラブだけでなく、民間のスポーツクラブやジムとも連携できるプランを考えてほしい。 ・ わくわく事業（健康づくり関連事業）は良いと思う。 | |
| 回答 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 自治区、ボランティア、民間事業者等と連携し、課題やニーズ等を把握しながら、健康に関する様々な取組を進めていきます。 <p>⇒ 重点取組3「新たなつながりの創出による健康づくりの推進」の具体的な取組の内容を修正しました。</p> | |

2 計画素案に寄せられた意見（抜粋）と事務局回答 ※ご意見は、趣旨を損なわない範囲で要約してあります

| 番号 | 意見分類 | 件数 |
|----|---|----|
| ⑨ | <ul style="list-style-type: none"> 支援機関等との連携 | 3 |
| 意見 | <ul style="list-style-type: none"> 社会に出られていない家などにこもった若者の健康に関する事が触れられておらず、若年性成人病等が懸念される。会社に勤めていれば、定期健診が義務化されているが、そうしたシステムから漏れた人にも目を向けて頂きたい。 自殺対策とあったが、心のケア中心で根本的な解決にはなっていないとも感じる。ケア面も必要だが、直接的に原因を分析して、その対策も講じるべきではないか。 自殺対策ならどんな理由で自殺をするのか、悩みや不安を少しでも取り除くこと、うつ病などの精神的な病気を持つ人に対する援助が必要だと思う。若者も高齢者も経済的な問題を抱えている場合もある。 | |
| 回答 | <ul style="list-style-type: none"> 自殺の背景には、精神疾患、過労、生活困窮、育児・介護疲れ、いじめ、孤独・孤立等、様々な社会的な要因があることから、様々な支援機関等との連携により、本人への支援を行っていきます。 | |

| 番号 | 意見分類 | 件数 |
|----|---|----|
| ⑩ | <ul style="list-style-type: none"> イベント・講座等の開催 | 6 |
| 意見 | <ul style="list-style-type: none"> 参加型で健康づくりができる機会が増えると嬉しい。 健康教室やスポーツ教室も、一部の人だけでなく多くの市民が利用出来るよう、定員や回数など増やすと良い。 健康作りに興味のない人や忙しい人でも参加しやすい工夫をしたほうが良い。 近年は、地域活動に参加する高齢者も少なくなっていることから、参加したいと思える活動を多く作ってほしい。また、参加のハードルを下げるような取組も考えてほしい。 | |
| 回答 | <ul style="list-style-type: none"> 誰もが参加しやすいイベント・講座・教室等を開催するとともに、民間を事業者が開催するものを含めて、各地域で行われている健康に関するイベント・講座・教室等の情報発信を行っていきます。 | |

2 計画素案に寄せられた意見（抜粋）と事務局回答 ※ご意見は、趣旨を損なわない範囲で要約してあります

| 番号 | 意見分類 | 件数 |
|----|---|----|
| ⑪ | デジタル化・ICTの活用 | 5 |
| 意見 | <ul style="list-style-type: none"> 健康に関するイベントは出来るだけ開催状況をオープンにして、ネットで気軽に申し込みができるようにすると、若い年代の参加率も上がるのではないかと。 健康アプリを通じてポイントがもらえるとか、地元のお店、飲食店で使えるなど、うれしいことやお得なことがあると参加しやすい。 オンラインの講座は良いと思う。できればZoomなどの決まった時間での開催で質疑応答ができるタイプが何回か開催されるといいと思う。 | |
| 回答 | <ul style="list-style-type: none"> オンライン講座の開催、動画の配信、健康アプリの活用、健康に関する社会資源の把握・情報発信等、ICTを活用した健康づくりの取組を進めていきます。 | |

| 番号 | 意見分類 | 件数 |
|----|---|----|
| ⑫ | 特典・インセンティブの付与 | 4 |
| 意見 | <ul style="list-style-type: none"> 健康づくり、それは身体心が癒される活動に参加した人は、もっとSDGsポイントを付与したらどうか。 定期健診での健康維持者には、褒賞を与えるなどするといいいのかもしれない。 ポイントがもらえるイベントがあると良い。 | |
| 回答 | <ul style="list-style-type: none"> 本市では、健康アプリ「あいち健康プラス」を活用し、健康づくりの取組実施者や健診受診者等を対象に、SDGsポイントと交換できるマイレージを付与する「とよた健康マイレージ事業」を実施しています。 引き続き、当該事業を継続するとともに、こうした特典やインセンティブ付与の見直しについて検討を進めていきます。 | |

2 計画素案に寄せられた意見（抜粋）と事務局回答 ※ご意見は、趣旨を損なわない範囲で要約してあります

| 番号 | 意見分類 | 件数 |
|----|---|----|
| ⑬ | <ul style="list-style-type: none"> 年代別の健康づくり | 5 |
| 意見 | <ul style="list-style-type: none"> 市には高齢者対策として認知症予防(健康教室等)、一人暮らしの方への見守りシステムなど、積極的に取り組んで欲しい。 中高年の基礎体力維持・向上への啓発（将来の介護予防） 民生委員や地域の方は近すぎて相談することに躊躇する。若い年代の人が「個、プライバシー」を重く見る傾向が強まっていると感じる。年代によりアプローチを変えることも考えたほうが良いと思う。 | |
| 回答 | <ul style="list-style-type: none"> 乳幼児期・小中学生やその保護者、大学生、働く世代、高齢者等、各世代に応じた取組・アプローチ方法についての検討を進めていきます。 | |

| 番号 | 意見分類 | 件数 |
|----|---|----|
| ⑭ | <ul style="list-style-type: none"> その他（感想等） | 29 |
| 意見 | <ul style="list-style-type: none"> 健康づくりは人が生きる上で非常に大切なことだと思うので、計画を基にがんばって進めてほしい。 計画がいくつもあって市民にとっては分かりづらいので、3つの計画を1つにまとめることは非常に良いと思う。 関心を高める、取組を持続する、輪を広げるという基本目標のもと、様々な幅広い取組を掲げられており、とても良い。 ぜひ、いろいろな人が興味を抱き、参加したくなる取り組みを実現させてほしい。 | |
| 回答 | <ul style="list-style-type: none"> ご意見ありがとうございました。 | |

3 生涯にわたって健康で過ごすために、
関心の高いものは次のうちどれですか？
(Eモニターのみ 3つまで選択可)

| 選択肢 | 件数 |
|---------------|-----|
| 運動・身体活動 | 138 |
| 栄養・食生活 | 129 |
| 休養（睡眠）・こころの健康 | 108 |
| 健（検）診の受診 | 55 |
| 歯・口の健康 | 43 |
| タバコの有害性 | 5 |
| 適切な飲酒 | 4 |

4 健康づくりに関する情報を集めるために
よく利用している媒体は次のうちどれですか？
(Eモニターのみ 3つまで選択可)

| 選択肢 | 件数 |
|-----------|-----|
| インターネット | 110 |
| テレビ | 74 |
| 新聞 | 59 |
| 広報とよた | 42 |
| 家族・友人の集まり | 33 |
| 書籍 | 24 |
| SNS | 24 |
| 講演会・研修 | 15 |
| 雑誌 | 14 |
| 折込チラシ | 10 |
| ラジオ | 5 |
| 地域の掲示板 | 4 |
| 地域の集まり | 3 |
| 電車やバスの掲示物 | 2 |

5 市民の健康向上のために市はどのようなことに取り組むべきですか？
（Eモニターのみ 自由記述）

6 スローガンについてご意見があれば教えてください。
（Eモニターのみ 自由記述）

| 選択肢 | 件数 |
|----------------------|----|
| 身体活動・運動の推進 | 45 |
| 健（検）診・保健指導の推進 | 21 |
| 市民への周知・啓発 | 19 |
| イベント・講座等の開催 | 18 |
| 特典・インセンティブの付与 | 8 |
| 地域等との連携 | 7 |
| ICTの活用 | 7 |
| 栄養・食生活の改善、食育の推進 | 5 |
| こころの健康づくりの推進 | 4 |
| 歯・口の健康づくりの推進 | 3 |
| 飲酒・喫煙・薬物乱用等に関する啓発の推進 | 1 |
| その他 | 21 |

スローガン案①
とよた健康プラス10（じゅう）

スローガン案②
誰もがみんな「（仮）健康アンバサダー」

| 選択肢 | 件数 |
|--------------|----|
| 肯定的な意見（※1） | 35 |
| 否定的な意見（※2） | 20 |
| その他（具体的な提案等） | 18 |

※1 スローガン案①「とよた健康プラス10（じゅう）」を肯定的に捉える意見が大多数であった。

※2 スローガン案②「誰もがみんな『（仮）健康アンバサダー』」について、内容は良いが「アンバサダー」という言葉がわかりにくいという意見が多かった。